

令和6年度

決 算 報 告 書

第13期事業年度

自 令和6年4月1日

至 令和7年3月31日



地方独立行政法人
大阪府立 環境農林水産総合研究所
Research Institute of Environment, Agriculture and Fisheries, Osaka Prefecture

令和6年度決算報告書

(単位:百万円)

区分	予算額	決算額	差額 (決算-予算)	備考
収入				
運営費交付金	1,986	1,974	△ 12	(注1)
自己収入	239	262	23	
財産売払収入	5	5	0	
農業大学校収入	7	5	△ 2	(注2)
依頼試験手数料収入	0	0	0	
受託研究等収入	205	207	2	
その他収入	22	44	23	(注3)
前中期目標等期間繰越積立金取崩	2	23	21	(注4)
合　　計	2,227	2,258	32	
支出				
業務費	441	473	32	
研究経費	236	271	35	(注5)
受託研究等経費	205	202	△ 2	
一般管理費	377	383	7	
人件費	1,409	1,364	△ 45	(注6)
合　　計	2,227	2,221	△ 6	

(注) 金額の端数処理は百万円未満を四捨五入しているため、合計金額と一致しないことがあります。
また、損益計算書において計上されている現金収入を伴わない収益及び現金支出を伴わない費用は決算報告書では含まれないため、損益計算書の計上額と決算額の集計区分に相違があります。

- (注1) 退職手当の支給額及び支給人数等が確定したことに伴い、特定運営費交付金収入が予算額に比して決算額が12百万円減少しました。
- (注2) 農業大学校において授業料を減免したこと等により、予算額に比して決算額が2百万円減少しました。
- (注3) 受託研究等収入のうち補助金等として収入したものを、その他収入に計上したことにより、予算額に比して決算額が23百万円増加しました。
- (注4) 研究力・技術力の向上等調査研究体制の強化のための、前中期目標等期間繰越積立金を取り崩したことにより、予算額に比して決算額が21百万円増加しました。
- (注5) 前中期目標等期間繰越積立金を財源とした経費や、補助金等収入を財源とした経費を研究経費に計上したことにより、予算額に比して決算額が35百万円増加しました。
- (注6) 退職手当の支給額等が確定したことや人件費の節減に努めたことにより、予算額に比して決算額が45百万円減少しました。